

礼拝堂での礼拝は中止します。ご家庭で礼拝をお守りください。

***** 12月24日(木) 19:00

クリスマス・イヴ 燭火礼拝

***** 「讃美歌21」を使用

前奏

招きの言葉 ローマの信徒への手紙15章13節
(燭火入場)

聖書 ルカによる福音書1章26～31節

賛美歌 262番「聞け、天使の歌」

***** 旅立ち *****

聖書 ルカによる福音書2章1～7節

賛美歌 259番「いそぎ来たれ、主にある民」

祈禱

***** 羊飼い *****

聖書 ルカによる福音書2章8～14節

賛美歌 263番「あら野のはてに」

***** 飼い葉桶 *****

聖書 ルカによる福音書2章15～20節

賛美歌 267番「ああベツレヘムよ」

主の祈り

***** 御子の誕生 *****

聖書 マタイによる福音書1章18～25節

賛美歌 266番「イエスは生まれた」

***** 賢者の来拝 *****

聖書 マタイによる福音書2章1～3、7～12節

賛美歌 264番「きよしこの夜」

説教 「夜の闇の中に輝く光」 稲垣千世牧師

献金 (教会の宣教と平和と福祉のために献げます)

感謝の祈り

賛美歌 260番「いざ歌え、いざ祝え」

祝禱

後奏

<説教要旨>

救い主は夜お生まれになったという福音書の喜ばしい知らせを今宵は家でひとり静かに味わいたいと思います。礼拝堂に集って共にイヴ礼拝を捧げることはできませんでしたが、しかし、その代わりに私たちはひとり静まり、深まっていく夜の闇の中に誕生された御子をお祝いする時が与えられました。誕生された御子の永遠の命の輝きを自分の心の最も奥深いところへ迎え入れることによって、そこに自分自身の生きる希望の灯火が灯る喜びを静かに実感することができる恵みを感謝したいと思います。

今、私たちを覆っているこの闇は夜の闇です。単なる闇ではなく夜の闇であるということは何を意味しているのでしょうか。深まっていく夜の闇は近づいて来ている夜明けの新しい朝の光が夜の闇の背後に隠されているということ。深まっていく夜の闇は現れつつある夜明けでもあります。今、夜の闇の中で現れつつある夜明けの光を見つめている人は誰なのでしょう。

その人は、野宿をしながら夜通し羊の群れの番をしている羊飼いたちであるとルカによる福音書は語っています。マタイによる福音書では東の方からやって来た占星術の学者たちであったと言っています。この人たちが深まっていく夜の闇の中で、被造物の光ではなく全地を満たしている神の栄光に導かれてこの地上に誕生した御子と出会うことができた喜びに溢れている人たちです。そして、今宵、私たちがまた神の栄光に導かれてこの地上に誕生された御子と出会っている喜びに満たされている者たちです。アーメン。

燭火礼拝

2020年12月24日（木）

日本基督教団 ひばりが丘教会